

Maekawa dental lab

歯科技工士 前川泰一

- 1995 前川デンタルラボラトリー開業
- 1998 JIADS 修了
- 2003 Sequential occlusion Wax-up コース修了
- 2005 Sequential occlusion Dr コース修了
- 2006 S.J.C.D テクニシャンコース修了
- 2006 ICOI (国際インプラント学会)FELLOW 取得
- 2008 (株)前川デンタルラボ新設
- 2009 USC ジャパンプログラム(ロサンゼルス) 修了
- 2009 Oral Design OSAKA コース 修了
- 2012 大阪セラミクトレーニングセンター宮崎校 卒業
- 2013 BPS 認定コース修了
- 2015 Dieter Schulz wax-up course(ドイツ ヘッペンハイム)修了
- 2020 STF デジタルアカデミー 修了
- 2021 株式会社 前川デンタルラボ 新装
- 2022 FREUDE INTERNATIONAL ACADEMY 修了
- 2024 株式会社前川デンタルラボ Mspace 新設

大阪セラミクトレーニングセンター宮崎校同窓会関西支部長
ICOI 国際口腔インプラント学会技工士部委員長
日本臨床歯科 CAD/CAM 学会 指導歯科技工士 技工士部会部長
日本顎咬合学会 常任理事 指導歯科技工士 技工士部会部長

技工士さんに知ってもらいたい噛み合わせの話

株式会社前川デンタルラボ 前川 泰一

私達歯科技工士の役目は個々の患者の生態に調和した違和感の少ない補綴装置を製作する事である。当然の事ながら色調、形態が患者の理想に合ったものを作るのはそのうちの1つで、患者の満足度を上げる一番の要因では無いかと考える。多くの技工士がそのために勉強し経験を積んでいる。では、機能的な面はどうであろう。前歯であれば舌側、臼歯であれば咬合面の形態をそれほど考えたことはないのではないか。人が健康に生きて行く上で一番大事なことは食事である。よく噛める違和感の無い歯とはどういうものなのか。それを学ぶのが「咬合学」である。私達歯科技工士は、患者に自身の持っている知識や経験、技術を注ぎ込んで対応する。その為にも、「咬合」という学問は押さえて置かなければいけない課題だと考えている。今回はその「咬合学」を「噛み合わせの話」とし、基礎的な話をデジタルの内容も織り交ぜながらお話できたらと考えている。